

証書が与えられることになつてゐる。

以上に述べて来たのは、主として社会各事業部門の教育に  
関してである。

しかし等しく重要なのは、目まぐるしく変化する現代にあつて、政策を研究、決定する責任の地位にする人々の教育である。社会奉仕の研究をした、教育された人間が必要である。ピバリッジ五大悪に対する協定政策が緊要だと主張したが、最善に計画された組織も、ただそれだけでは成功を確実にすることは出来ない。その成功は実にかかつてその指導運営の如何にあり、その運営は実際の仕事を通して、国民大衆と直接、接触する下士卒公務員の能率如何によるのみでない。遙かに少数の指導と方針決定の責任を持つ、行政官の素質によるのは言う迄もない。ピバリッジ自身もこれを認めてか、公務に奉仕する機能を特に考慮に入れて、公務員を選抜し、教育すべきだと言つてゐる。

既に見て来たように、社会事業の範囲についての従来の狭い觀念は、棄て去るべきである。社会事業は單なる福祉事業でも、善事をすることでも、ケース・ワークでも、更に困窮の救済防止でもない。それらの凡てを含み、その上、遙かにそれ以上のことを意味する。社会奉仕は共同社会全体に及び、肉体的、経済的、知的並びに精神的に平等な機会を、世界中の人々の上に創造せんとする努力である。この巨大な事業には、多くの働き人があり、多くの種類の奉仕事業がある

が、それらは凡て、多少の差はあれ、より善き社会を実現するために、共同して働いてゐるのである。

一九五五・二二・二八  
英国カンタベリー、聖オガステン大学に於て

## アメリカの学生生活

伊 東 よ ね

私は毎日実にはたのしく勉強しています。大学院はケンタッキーに一つなので、種々な処から人が集まり、他の州からも来ています。何年もケースワークや社会事業の仕事をしてきた人や法律の専門家だった人や、心理学英語の先生だった人達などです。いまとつてゐる科目は、ソーシャル、ケースワーク、精神医学知識、社会福祉、医学知識、コミュニケーション、臨床心理学、現場実習の七科目です。殆ど自分の意見発表、ディスカッション形式です。試験が思いやられます。平均点B以上でないとはスカラシップをとりあげられてしまいます。アメリカの学生でも図書館で殆ど過ごしてゐる位です。いま住んでゐるお家の御主人は四つのお金事業施設の長をしてゐる方でいい本を沢山もつてゐるし、お話などでも私のヘルプになる事が多いです。アメリカの学生と同様に実習ではケースをもつてインタービューしています。先日ニグロのお家をたずねた時野菜をかうお金もないといわれて、あわてて施設からヘルプのお金を六弗チェックしてもらつた等これでも仲々大変な御仕事をしているんだと感じ入つてゐます。

(ケンタッキー州ルイビル大学社会事業大学院在学中・新制二回卒業生)